

先日、インターネットを使った職員研修が、法人全体で行われました。講師は毎日新聞の元論説委員の野澤和弘さんで、ご自身も障がいのあるお子さんのお父様である方です。実際に起こった虐待事件を取材されてきた野澤さんから、「虐待は決して“他人事”ではなく、どこでも起こりうること」、「支援者が障がいのある人の人生を台無しにしてしまうことなんて、簡単にできてしまう（逆にいえば、支援者との出会いで幸福にもなる）」等が話され、私たちに大きく響くものでした。私たち職員に「完璧」はなく、誰もが「虐待の芽を持っている」自覚が必要と感じました。それは、『なかまに向き合う自分』に向き合うこと。これは容易いことではないのですが、職員同士が支え合って、よりなかまの「声」を聴けるようになることに職員としてのよろこびがあることを改めて思いました。貴重な学びの機会を、これからの支援に活かしていきたいと思えます。

つくりやの外部就労の一つとして

地域の方のお宅で草取りをしてきました！



新型コロナウイルスの影響で、ホテル作業ができなくなったため、つくりやグループでは小倉メナーの食器洗浄や農福連携の畑作業とともに、リンゴの箱詰め作業を始めています。これに加えて今回、地域のお宅での草取り作業を請け負いました。とても広いお庭にびっくりしながらも、みんなでせっせと草取りに励み、とてもきれいにすることができました。

地域の方とのかかわりが、こうやって仕事につながっていくのは、とてもありがたいことです！

つくりや
第2コムハウスの見える仕事自前、
寒い！と感じ、香焚しをいたしました。
今日は久しぶりの松本山荘の
作業をしました。寒く日は、室内で
作業が「な！」と話
しながら、皆の作業をしました。

つくりや
今つくりやは、鳥島の独居のお宅の
お庭の手入れ(草取り)に行っています。
なな～お庭でワイルドも、夕方の置物
そい大～岩の山いっしょ!!
都度「ワイルドの回り」など
地域のお助け隊!!
頑張ってます!!